

成果の説明書

(氏名) 谷川 卓	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>【研究活動】</p> <p>ヒューム主義的形而上学を追究する研究に引き続き取り組んでいる。今年度もとくに様相をめぐる問題の研究を進めた。形而上学的必然性にまつわる問題、思考可能性と可能性の関係をめぐる問題、様相的文脈における人の同一性に関する問題などを検討した。</p> <p>【教育活動】</p> <p>学生が授業に積極的に参加できるようにするべく、「哲学」および「社会思想」の授業ではグループディスカッションを取り入れているが、今年度はその回数を増やした。それにともない、フィードバックなどのため、昨年度より多くの時間を授業対応にかけることになった。</p>	
2 その他の事項	
<p>【学内】</p> <p>教養教育委員長 教職課程運営委員 日本語部会</p> <p>『高崎経済大学論集』論文査読 1 件 高崎経済大学経済学会学生懸賞論文査読</p> <p>【学外】</p> <p>日本科学哲学会編集委員 慶應義塾大学通信教育部非常勤講師</p>	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>ヒューム主義的形而上学を追究する研究に引き続き取り組む。</p> <p>教育面では、グループディスカッションのやり方についてさらに検討する。とくに来年度は Webclass が導入されることから、その活用方法を検討したい。</p>	